

2019年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 国内機関ポスト一覧

| 登録番号 | 担当部署 | 募集人数 | テーマ |
|----------|--------------------|------|----------------------------------|
| 1901-国01 | JICA北海道（札幌）市民参加協力課 | 1 | 北海道における開発教育支援を中心とした市民参加協力事業の業務支援 |
| 1901-国02 | JICA北海道（帯広）道東業務課 | 若干名 | 市民参加協力事業及び広報に関する業務補助 |
| 1901-国03 | JICA筑波 連携推進課 | 2 | 開発教育支援事業を中心とした市民参加協力事業の業務補佐 |
| 1901-国04 | JICA東京 長期研修課 | 1 | 長期研修員（留学生）にかかる支援業務 |
| 1901-国05 | JICA東京 経済基盤開発・環境課 | 1 | 経済基盤開発・環境分野の研修員受入事業の業務補佐 |
| 1901-国06 | JICA中国 研修業務課 | 3 | JICA研修事業を通じての国際協力理解の推進 |
| 1901-国07 | JICA九州 研修業務課 | 1 | 長期研修員を中心とした研修員受入事業の業務補佐 |
| 1901-国08 | JICA沖縄 研修業務課 | 1 | 開発途上国(大洋州)の生活習慣病予防における課題と対策の考察 |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|--|--|---|----------------------------------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国01 |
| ■部署名/事務所名： | JICA北海道（札幌） | ■募集人数（人） | 1 |
| ■課名/プロジェクト名： | 市民参加協力課 | | |
| ■テーマ | | | |
| 北海道における開発教育支援を中心とした市民参加協力事業の業務支援 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 | | | |
| 市民の方々へ開発途上国が抱える問題や我が国との関わり、国際協力の役割などに関する知識の普及を図るとともに、将来の国際協力への参加を促進するため、JICAは開発教育支援をはじめとした市民参加協力事業を展開している。この一環としてJICA北海道では一般、児童・学生、教員など様々な対象層に向けた行事・プログラム・研修会、さらにはJICAが開発途上国から受け入れている研修員との相互理解・交流プログラム等を実施しており、今回募集するインターンは、これらのイベントの効果的・効率的な実施等に向けた各種業務支援を行う。 | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・2019/8/31（土）に予定されている国際協力・地域交流イベント「世界ふれあいひろば」を中心とした市民向けイベントの実施準備、開催補助 ・本インターンシップとは別に1週間程度受け入れる学部インターン（数名）との調整 ・イベント実施後のアンケート集計、ホームページ原稿作成、及び改善事項等の整理や提言 ・施設（地球ひろば）訪問プログラムの実施・運営の準備、当日補助 ・その他業務に係る情報収集・整理補助 | | | |
| ■参考情報 | | | |
| https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 | | | |
| 市民向けイベント（世界ふれあいひろば等）、児童・学生向け開発教育支援プログラム（地球ひろば訪問プログラム等）、研修員学校訪問プログラム等（未定） | | | |
| ■受入時期・期間 | | | |
| 2019年8月中旬 から 9月下旬 までの 1-1.5ヶ月間程度 調整可 理由： | | | |
| ■希望する人材 | | | |
| 大学生・大学院生・社会人全て可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| 必須 | イベント開催時など、途上国から来日した研修員とのコミュニケーションが求められる場面があるため、基礎的な英会話能力があること。 | | |
| 必須 | 国際協力や市民向けイベントへの意欲や熱意があること。 | | |
| 必須 | 自ら進んで業務に取り組む自主性、積極性があること。 | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他（提供可能な事項）： | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 約1,000円/日（昼食代。少額交通費はJICAから支給） | | 5,300円/泊（センター宿泊の場合） | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | 特記事項： (取得期間 金額等) | | |
| ■備考・留意点 | | | |
| | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|--|-------------|---------------------|----------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国02 |
| ■部署名/事務所名： | JICA北海道（帯広） | ■募集人数（人） | 若干名 |
| ■課名/プロジェクト名： | 道東業務課 | | |
| ■テーマ | | | |
| 市民参加協力事業及び広報に関する業務補助 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 | | | |
| <p>北海道の道東地域を所管するJICA北海道（帯広）では、所管地域における開発協力の担い手の裾野拡大及び地域の活性化のため、多様な担い手による我が国国内での知見の共有や発信の支援、ボランティア事業や開発教育等の取組を通じ、開発協力への各層の理解、広範な参加及び開発協力参加者の経験の社会還元を推進してきた。</p> <p>本インターンシップは、将来国際協力の分野で活躍することを希望される方に、JICA北海道（帯広）における市民参加協力事業及び広報に関する業務補助の経験を通じ、日本（北海道、特に道東地域）と途上国との結びつきを理解してもらうとともに、国際協力に活用しうる道東地域の特性（強み、経験等）に関する情報収集や、市民の目線から各種事業の課題や改善点を検討してもらうことを目的として実施する。</p> | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・館内案内ガイド各種リニューアル（地元の方につながり易いような説明資料の作成等） ・館内展示の企画・作成（展示中の企画への理解が深まる補助資料の作成・展示等） ・中高生対象のワークショップ企画・提案（期間中に参加者として体感する機会を設ける） ・各種事業現場への同行を通じ得られた所感を元にしたウェブサイト原稿の作成 ・各種事業現場への同行を通じ得られた道東地域の特性（強み、経験等）に関する情報の取りまとめ ・研修員との意見交換を通じ、親日派人材育成のための地域との交流に係る企画提案 ・国際協力を通じた地方創生への貢献に係る企画提案 等 | | | |
| ■参考情報 | | | |
| | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 | | | |
| インターンシップの期間中、JICA北海道（帯広）にて実施中の各種事業現場への同行（研修員受入事業、草の根技術協力事業、開発教育支援事業等） | | | |
| ■受入時期・期間 | | | |
| 2019年8月下旬 から 9月中旬 までの 2週間程度 | | | |
| 調整可 理由： | | | |
| ■希望する人材 | | | |
| 大学生・大学院生・社会人全て可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| | | | |
| | | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）： _____ | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 700円/日（センター内レストラン利用の場合） | | 無料（センター宿泊の場合） | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | | 特記事項： （取得期間 金額等） | |
| ■備考・留意点 | | | |
| 帯広市外在住のインターンが期間中当センターに宿泊する場合の利用料金は無料（現物支給）とする。 | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|---|--|---|----------------------------------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国03 |
| ■部署名/事務所名： | JICA筑波 | ■募集人数（人） | 2 |
| ■課名/プロジェクト名： | 連携推進課 | | |
| ■テーマ 開発教育支援事業を中心とした市民参加協力事業の業務補佐 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 JICAは日本と途上国の人々をむすぶ架け橋として、途上国の現状を日本国内へ伝えるとともに、市民が行う国際協力の取り組みを支援しています。JICA筑波においても、開発教育支援事業として市民・NGO・自治体・学校等による国際協力活動への参加を支援しながら、地域の方々とさまざまな形で連携しています。 当センターで実施している主な開発支援事業プログラムは以下のとおりです。 1. 「大学生・大学院生向け国際協力理解講座」：講義やワークショップ等を通じて国際協力の知識を深める講座 2. 「JICA筑波 施設訪問」：小中高生など一般市民がJICA筑波を訪れるプログラム 3. 「研修員の学校訪問」：途上国から来た研修員が日本の学校を訪問し、子供たちと交流するプログラム 4. 「国際協力出前講座」：青年海外協力隊など国際協力の現場で活躍した人材を講師として学校へ派遣するプログラム 5. 「教師海外研修／国際理解実践セミナー」：主に教員を対象にした国際理解を知るプログラム 6. その他（各種イベント） | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 今回募集するインターンには、JICA筑波で実施している開発教育支援事業のうち、以下のプログラムにおいて、担当スタッフとともに、企画・運営・実施およびフォローアップ等の業務をご担当いただきます。 各プログラムで想定される具体的な活動内容は以下のとおりですが、諸事情により変更になることがあります。また、以下のすべてのことを担当していただくのではなく、以下のうち、いずれかを担当していただきます。 1. 「大学生・大学院生向け国際協力理解講座」： 講座の運営、モニタリング、評価の補佐業務（受講者アンケート収集、分析実施などはインターン自身の自由研究として設定可） 2. 「JICA筑波 施設訪問」小中高の生徒さんの訪問の際の運営補助 3. 「研修員の学校訪問」：研修員が学校を訪問する際の同行、プログラム実施補助 4. 「国際協力出前講座」：青年海外協力隊などを講師として学校へ派遣する際の同行補助 5. 「教師海外研修／国際理解実践セミナー」：セミナーへの参加、運営補助 6. その他（各種イベント）：研修員が参加するプログラムへの同行のほか、前記1.～5.の広報記事作成etc. | | | |
| ■参考情報 https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/kaihatsu/index.html 参照 | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 ・「研修員の学校訪問」および「国際協力出前講座」（茨城県内の小・中・高校等） ・「大学生・大学院生向け国際協力理解講座（8月26日から30日実務コース実施期間）」 ・その他、国際理解教育や研修員にかかるとなる各種イベント | | | |
| ■受入時期・期間 2019年8月中旬から9月中旬までの1ヶ月間程度（大学生国際協力理解実務講座8月26日から30日は在籍必須） 調整可 理由： | | | |
| ■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| 望ましい | 教育分野（国際理解教育）・開発支援・国際関係分野等 | | |
| 望ましい | 英検2級相当（TOEIC580-、iBT；65-）以上の英語力 | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他（提供可能な事項）： | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 500-1,200円/日 | | 約5,500円/泊 | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | 特記事項： (取得期間 金額等) | | |
| ■備考・留意点 5,300円/泊 ☆国内機関規定に則る（希望者のみ、但し、研修員受入事業が優先のため、宿泊室が満席の場合、確保出来ないこともあり） ⇒センター最寄りに民間ホテル（ http://www.new-takahashi.co.jp/kouyadai.html ）あり。 | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|--|---|---|----------------------------------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国04 |
| ■部署名/事務所名: | JICA東京 | ■募集人数(人) | 1 |
| ■課名/プロジェクト名: | 長期研修課 | | |
| ■テーマ 長期研修員(留学生)にかかる支援業務 | | | |
| ■テーマ(プロジェクトなど)の概要 JICAでは年間約1,000名の長期研修員を受入れており、JICA東京管内には、70か国、400人を越える長期研修員が常時滞在しています。長期研修員は、学位取得などのため、1都4県(東京都、新潟県、群馬県、埼玉県、千葉県)に所在する30校超の各大学で勉強していますが、東京センターでは、定期的に各大学に赴き、研修員の学業や生活をモニタリングし、学生生活をサポートしています。また、長期研修員は、ABEイニシアティブ(アフリカ諸国へのビジネス展開支援)、Pacific Leads(太平洋諸国の行政官育成)などのプログラムにより派遣されており、センターでは、それぞれに応じたイベント(ビジネスセミナーや交流会)の実施、または、実施支援を行っています。 ※長期研修員とは、JICAベースで受け入れている留学生で、20歳前半から40歳くらいまでの青年が、様々な大学/専攻の修士課程、博士課程で学んでいます。また、JICAでは、就学中、学位取得後のインターンシップ活動を提供しており、より実践的な経験を積んでいただくことで、出身国と日本の発展に貢献できる人材育成として実施しています。 | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 ・JICAで実施している多様な長期研修プログラム(留学生事業)の概要(制度や実施状況)を学ぶ。 ・長期研修員へのサポート業務(学業・生活モニタリング、支援)の補助を行う。 ・長期研修員にかかる諸手続き(学費、住居手続きなど)の補助を行う。 ・センターで実施する行事(評価会、修了式)の補助及び広報活動の支援を行う。 ・長期研修員に対して行うイベントの企画・運営・実施の補助を行う(他部署が主管するものも含む)。 ・中学校や高校などの教育現場で行う、出前講座に長期研修員と共に参加する。 | | | |
| ■参考情報 JICA東京HP: https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html 同HP中の研修レポート: https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/report/index.html 同HP中の研修員が見たNIPPON: https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kenshu/message/index.html JICA東京Facebook: https://www.facebook.com/jicatokyo アフリカ諸国を対象としたABEイニシアティブ http://education-japan.org/afrika/index.html#africa_news_area | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 アフリカ諸国を対象としたネットワーキングフェアの事例 https://www.facebook.com/jicapr/photos/a.488245507878268/1864081176961354 | | | |
| ■受入時期・期間 2019年 8月 から 10月 までの 1ヶ月間程度 調整可 理由: | | | |
| ■希望する人材 大学生・大学院生ともに可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| 望ましい | 英語によるコミュニケーションに支障がないこと | | |
| | | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他(提供可能な事項): _____ | | | |
| ■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費) | | ■宿泊費 | |
| | | 円/日 | 円/泊 |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | 特記事項: (取得期間 金額等) | | |
| ■備考・留意点 | | | |
| | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|--|------------|----------|----------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国05 |
| ■部署名/事務所名： | JICA東京 | ■募集人数（人） | 1 |
| ■課名/プロジェクト名： | 経済基盤開発・環境課 | | |
| ■テーマ 経済基盤開発・環境分野の研修員受入事業の業務補佐 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 JICA東京の経済基盤開発・環境課では、各国の行政官等を日本に招き、主に都市・地域開発、運輸交通、情報通信技術、自然環境保全、水資源、防災および環境管理分野の研修を行っています。 実施している研修は大きく分けて2種類、課題別研修と国別研修があります。課題別研修とは、様々な国から来た参加者が1つのチームとなって、特定の課題について学ぶものです。一方、国別研修とは特定の国から複数の人々が来日し、その国が直面している課題の解決策について学ぶものです。 いずれの研修プログラムも「講義、視察、討論、実習および帰国後の活動計画の作成と発表」から構成されています。JICA東京では、様々な機関と協力して、こうした研修プログラムの企画・実施から実施後の振り返りなど、研修の一連の事業を行っています（JICA東京全体では年間約4,000人の人々を受け入れています）。 そのほかJICA東京では、研修事業のほかNGOや民間企業との連携のほか、学校での開発教育など、途上国と日本の人々をつなぐための様々な事業（市民参加協力）も実施しており、国際協力の国内での現場の最前線と言えます。 | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 ①. 研修員受入事業の事務補佐 ～研修事業の業務の実際を体験・習得する～ ・研修員来日前の諸手続きの業務補佐（募集案内作成、選考表作成、受入回答作成、契約業務補助、書類発送、経理書類入力等） ・研修員来日後の諸手続きの業務補佐（研修員名簿作成、研修員卓上札・名札作成、修了証書作成、銀行カード・授受簿の整理・一時保管等） ②. 来日した研修員への支援補佐 ～研修員と接する～ ・研修で実施する講義・施設見学や研修員向け福利厚生行事・日本語研修等への同席・同行を通じた研修員への支援補佐（おもてなしを含む）、同講義・見学に関するHP・SNS用記事作成 ・実体験を踏まえた研修員への支援（おもてなしを含む）に関する考察、レポートへの取り纏め ③. 研修員受入事業と市民参加協力事業の連携補佐 ～市民参加と連携する～ ・研修員受入事業と市民（学生含む）参加協力事業の連携に関する業務補佐（各県で実施される情報交換会準備・参加、自治体と連携した研修関連スタディツアー準備・参加）、関連するHP・SNS用記事作成 ・実体験を踏まえた研修員受入事業と市民（学生含む）参加協力事業の連携に関する考察、レポートへの取り纏め | | | |
| ■参考情報 JICA東京HP： https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html 同HP中の研修レポート： https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/report/index.html 同HP中の研修員が見たNIPPON： https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kenshu/message/index.html JICA東京Facebook： https://www.facebook.com/jicatokyo | | | |
| ■参加（同行）可能な行事・視察等 インターンシップ期間中に実施する各種課題別研修・国別研修、研修員向け福利厚生行事（日本文化紹介、市民との交流等）等 | | | |
| ■受入時期・期間 2019年8月 から 2019年12月までのインターンが希望する3ヶ月間程度 調整可 理由： | | | |
| ■希望する人材 大学生・大学院生・社会人全て可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 望ましい 英語での意見交換に支障ないレベル（TOEIC730点以上が目安） | | | |
| ■提供可能な執務環境等 <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）： | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 円/日 | | 円/泊 | |
| ■査証必要の有無 無 特記事項： (取得期間 金額等) | | | |
| ■備考・留意点 具体的なインターンシップ内容は上記の①～③を予定・想定していますが、②や③のようにレポートにまとめてみたい研修関連の特定テーマのアイデアがある場合には、応募申請書に提案を記載して下さい。 | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|---|--|--------------------------------|---|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国06 |
| ■部署名/事務所名： | JICA中国 | ■募集人数（人） | 3 |
| ■課名/プロジェクト名： | 研修業務課 | | |
| ■テーマ | | | |
| JICA研修事業を通じての国際協理解の推進 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 | | | |
| <p>広島県東広島市に位置するJICA中国（中国国際センター、以下当センターと言う）は中国地方5県を所管し、研修員受入事業においては受入年間600名近くの途上国の行政官等を研修員として受け入れています。インターンとして参加頂く方にはインターンシップ時期に分野を問わず当センターの近辺で実施されている研修コースへの同行・講義聴講や当センターに滞在中の研修員との意見交換、職員との意見交換等を通じてJICA研修事業を通じての国際協力への理解を深めて頂きたいと考えています。</p> <p>また、研修員のうち100名程は大学の修士・博士課程にも在籍しており、これらの研修員は皆さんと同様の立場で1年以上日本に滞在しております。これらの研修員とも意見交換等をして頂き外国人が日本に住み大学に通うことについて留意すべき点等も取り纏めて頂きたいと考えています。</p> | | | |
| 1 | | | |
| <p>期間中、以下の活動、提出頂く成果を想定しております。</p> <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当センター近辺で実施されている研修コースへの同行、講義聴講（1回～数回） ・研修員（上述の長期タイプも含む）との意見交換、情報収集、当センター職員等関係者との意見交換、情報収集 ・当センターの研修情報について発信しているホームページ、フェイスブックの改善検討 ・外国人へ発信する中国地方の情報の収集 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が日本に住み大学に通うにあたっての留意点の取り纏め（来日研修員への配布に活用できることを念頭に） ・研修参加者に配布する中国地方の情報シート案 ・ホームページ、フェイスブック等の情報発信方法の改善案 | | | |
| ■参考情報 | | | |
| <p>JICA中国ホームページ https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html</p> | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 | | | |
| インターンシップ時期に当センター近隣で実施されている研修コースへの同行、イベントへの参加 | | | |
| ■受入時期・期間 | | | |
| 2019年7月中旬 から 8月下旬までの 1ヶ月間程度 | | | |
| 調整可 理由： | | | |
| ■希望する人材 | | | |
| 大学生・大学院生ともに可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| 望ましい | 英語での意見交換に支障ない英語レベル（TOEIC730点以上が目安） | | |
| | | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他（提供可能な事項）： | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 0円/日 | | 0円/泊 | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | 特記事項： (取得期間 金額等) | | |
| ■備考・留意点 | | | |
| <p>・当センターの居室に空きがある場合は1泊5,300円で宿泊頂くことが可能です。</p> <p>・ただし、7/21～8/6、8/29～8/31は現在満室のため、その期間は西条駅周辺のホテルに宿泊下さい。 （西条駅・JICA中国を繋ぐ無料シャトルバスを利用できます）</p> | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|--|---|---|----------------------------------|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国07 |
| ■部署名/事務所名: | JICA九州 | ■募集人数(人) | 1 |
| ■課名/プロジェクト名: | 研修業務課 | | |
| ■テーマ | | | |
| 長期研修員を中心とした研修員受入事業の業務補佐 | | | |
| ■テーマ(プロジェクトなど)の概要 | | | |
| <p>JICA九州研修業務課では、各国の行政官等を日本に招き、様々な分野の研修を行っています。このうち、長期研修とは、その国の発展に必要とされる特定分野の知識を深く修め、最終的には学位を取得することを目的に、1年以上の長期にわたって本邦に受け入れる研修です。この研修に参加する研修員のことを特に「長期研修員」と呼びます。長期研修員は、大学院の修士課程または博士課程に在籍し、一般的な大学院生と同じように指導教官のもと履修をし、論文等を提出して学位を取得します。帰国後は、研修で得た知識を活用し、本国の発展に寄与することが期待されます。JICA九州では、九州の大学に在籍する長期研修員について、生活基盤整備支援、進捗モニタリング、家族呼び寄せや海外渡航に係る諸手続き、帰国手続き等を行っています。</p> <p>また、課題別研修は、特定の課題に関する研修を、様々な国から来た研修員が1つのチームとなって受けるものです。課題別研修は平均して40日程度の短い期間で行われますが、期間中、講義、視察、討論、実習および帰国後の活動計画の作成や発表を効率よく行い、その国の発展に貢献することを考えて構成されています。</p> | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・長期研修員来日後に必要な諸手続きの業務補佐(ウェルカムレター作成、大学に移動への同行、大学への移動手配、アパートが見つかるまでのホテル宿泊依頼等) ・長期研修員帰国前に必要な諸手続きの業務補佐(修了証書の作成、研修員が使用していた銀行キャッシュカードの回収、帰国研修員の活動に関するHPまたはSNS用記事作成等) ・在学中長期研修員の活動支援に係る各種手続き(外国でのフィールド調査申請の受理および確認、アパート転居や契約更新に関する手続き、家族呼び寄せ申請に関する手続き) ・課題別研修で実施する講義・施設見学・交流プログラム・研修員向けバスツアー・日本語研修等への同席・同行、同講義・見学に関するHPまたはSNS用記事作成 ・課題別研修への同行を踏まえた、研修の改善点の検討 ・交流プログラムやバスツアーへの参加・同行を踏まえた、改善点の検討 ・センターでの研修員サービスについて、研修員とのコミュニケーションを通じ、研修員のニーズを探るとともに、解決策を検討する(例:食堂メニューや食堂運営体制の改善など) | | | |
| ■参考情報 | | | |
| <p>主な長期研修プログラムは以下のとおりです。</p> <p>アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ) https://www.jica.go.jp/africahiroba/business/detail/03/index.html</p> <p>未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト(PEACE) https://www.jica.go.jp/project/afghanistan/006/index.html</p> <p>太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS) https://www.jica.go.jp/regions/oceania/Pacific-LEADS.html</p> | | | |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等 | | | |
| | | | |
| ■受入時期・期間 | | | |
| 2019年8月 から9月 までの1ヶ月間程度 | | | |
| 調整可 | | 理由: | |
| ■希望する人材 | | | |
| 大学生・大学院生・社会人全て可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| | | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他(提供可能な事項): _____ | | | |
| ■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費) | | ■宿泊費 | |
| 2,000円/日 | | 5,300円/泊 | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | | 特記事項: (取得期間 金額等) | |
| ■備考・留意点 | | | |
| <p>宿泊費はJICA九州に宿泊した場合です(朝食付)。</p> <p>9月10日から20日頃まで、新たに来日した多くの長期研修員が当センターに宿泊し、数泊した後、各大学に向かいますので、特にその時期のインターン実施が可能であることが望ましいです。</p> | | | |

2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

| | | | |
|---|--|--------------------------------|---|
| 受入担当部署/受入事務所 | | 登録番号 | 1901-国08 |
| ■部署名/事務所名： | JICA沖縄 | ■募集人数（人） | 1 |
| ■課名/プロジェクト名： | 研修業務課 | | |
| ■テーマ 開発途上国（大洋州）の生活習慣病予防における課題と対策の考察 | | | |
| ■テーマ（プロジェクトなど）の概要 JICA沖縄では、2017年度から大洋州諸国向けの青年研修「生活習慣病予防」コースを実施している（2017年度は6ヵ国16名、2018年度は7ヵ国14名が参加）。この研修では、参加国の中央政府、地方自治体、NPO等で生活習慣病予防に取り組む20歳～35歳の若手人材に対して、活動地域における生活習慣病予防に資する知見を提供する。具体的には、活動地域における生活習慣病の現状と原因の分析を共有し、沖縄県内の取組みに関する講義・視察・実習により自国の生活習慣病予防策の考察等を行う。 | | | |
| ■具体的なインターンシップ活動内容 本インターンシップは、保健・運動指導・栄養指導のいずれかを専攻する大学3年次以上、大学院生までを対象とし、生活習慣病予防について、以下の内容に取り組むこととする。 ①研修資料の準備、教室の準備等、研修運営を補佐する ②研修員が作成したレポートと研修員との議論に基づき、参加国の生活習慣病予防上の課題をまとめる。インターン自身も、日本または沖縄県の生活習慣病予防についてのレポートを作成・発表する ③研修員と共に研修に参加し、保健・運動指導・栄養指導系学生の視点から「研修員が実施可能な方策」を検討する ④将来、国際保健分野で活動する可能性を踏まえ、沖縄のどのような経験や制度が途上国に対しても有効であるのか、また、開発途上国から学び、取り入れられることがあるとすればどのようなことかを考察し、まとめる ⑤上記②～④により英文または和文の報告書を作成し、口頭発表も行う | | | |
| ■参考情報 JICA沖縄HP（事業の紹介） https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/index.html https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/hitokoto/ku57pq00000d8f6g-att/voice_08.pdf https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/hitokoto/ku57pq00000d8f6g-att/voice_21.pdf JICAHP（生活習慣病対策プロジェクト） https://www.jica.go.jp/oda/project/1300554/index.html | | | |
| ■参加（同行）可能な行事・視察等 ・ JICA沖縄青年研修「大洋州混成/生活習慣病予防」コース（講義、実習、見学等）全般の同行 | | | |
| ■受入時期・期間 2019年9月24日頃 から 10月15日 までの 0.7ヶ月間程度 調整不可 理由： 研修実施期間が決まっているため | | | |
| ■希望する人材 大学生・大学院生ともに可 | | | |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件 | | | |
| 必須 | （専攻分野）保健医療・運動指導・栄養指導のいずれかを専攻していること | | |
| 必須 | （英語力）生活習慣病予防に関する保健医療・運動指導・栄養指導分野の英文資料を読解でき、生活習慣病予防に関する英会話が可能であること。 | | |
| 必須 | （ICTリテラシー）PCによる文書・プレゼンテーション資料作成ができ、インターネット上のオンラインストレージの操作ができること | | |
| ■提供可能な執務環境等 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 | | |
| その他（提供可能な事項）： 研修員移動時の車両（JICA沖縄公用車または借上げ車両）に同乗可。 | | | |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費） | | ■宿泊費 | |
| 1,300 円/日 | | 3,000 円/泊 | |
| ■査証必要の有無 | | | |
| 無 | 特記事項： （取得期間 金額等） | | |
| ■備考・留意点 | | | |